整備ビジョン2035
説明会報告①

JLUニュース

No 1087（17－62）
航空連 日本航空ユニオン
中央執行委員会
2026年 07月 16日

Tel：03-5756-8690 URL http://www.jlu.co.jp e-mail honbu@jlu.co.jp

職場から率直な声を伝え 課題解決につなげる

７月９日、15:30～17:00 整備本部による整備ビジョン 2035 説明会が行われました。整備本部からは、濱本本部長以下、各部長を合わせて27名、組合は佐藤委員長以下、中央執行委員８人が出席、整備ビジョン2035に関する質疑とともに、職場の問題点に関するやりとりを行いました。以下、報告その①です。

整備本部長・労組委員長あいさつ要旨

濱本本部長 まずは日々安全運航の堅持と機材品質向上に努めていただいている組合員の皆様に感謝を申し上げる。今年度最初の説明会となるが、昨年度は JAL グループ全体で EBIT を達成し、業績も良好であった。しかし現場の繁忙感はいまだ解消できていない状況である。また今年度に入ってから JALEC では不正事象が 3 件も発生している。これは昨年からの監査指摘事象も含め、根本的な原因解消に至っていないと認識している。航空局からの厳しい指導も予想されるが、根本的な課題解決を経営マネジメント層が直視し、どういう風に解消していくか、組合員の皆さんと一緒に話し合いながら進めていく必要がある。皆さんが働きやすい環境を作ることが最も重要であり、現場で組合の皆さん、間接職場の皆さんと逐一状況を確認し、解決策を見出していきたい。その最初のステップとして今日はいい機会だと思う。忌憚のない意見交換ができればと思う。

佐藤委員長 25 年度の EBIT は良かったとしても、現場の状況は経営マネジメント層が直視できないような惨状になっている。現場から階級が上がっていくごとにスポイルされ、現状認識ができていない状況である。本来こういう場で話せないことが多くあるが、それをしてこなかったために 3 年前に業務改善勧告が出て、3 年経った今も全く解消できておらず、もっとひどい状況になりつつある。根本を話していきたいが、犯人探しや表面的な取り繕いが働いてしまうため、オフレコで話したい部分もある。大元の部分ができておらず、小手先のことでは済まない状態になっているので、その部分を伝えていきたい。

JALEC/整備本部 整備ビジョン 2035 に関する質疑応答

組合 整備ビジョン 2035 について、ERJ の後継機はどうなるのか。経営協議会で昨年聞いたところ「年度中は無理」と言われたが、いつ発表されるのか。資料の図を見ると 28 年から 30 年の導入予定だが、この予定に変更はないのか。

会社 現在も候補機種の評価をしているが決定には至っていない。28 年から 30 年にかけての線は、この間のどこかで導入するということで時期は決められていない。ERJ170 の退役もあるため、28 年度から 29 年度にかけては導入が必要と考えている。準備期間も含めた表現である

組合 候補機は何機種か

会社 現在 3 機種から選定を進めている段階である

本部長 今年中には決まる。そういうつもりで私も考えている。

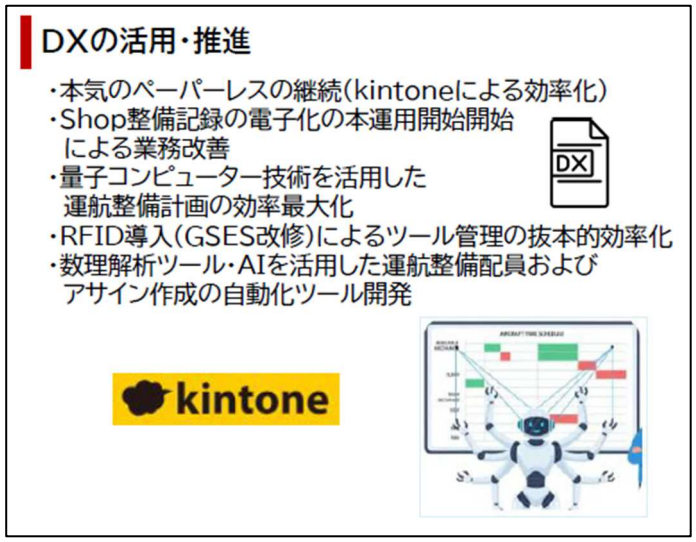
■本気の断捨離と今後の DX 戦略について

組合 P16 に「本気の断捨離」と書いてあるが、そんなになくせる仕事があるのか。これは間接のことを指しているのか、現業でなくせるものは考えていないのか。

会社 基本的には間接部門中心にやっていく。昔から断捨離流行ってきていて、当時はそれぞれの部門でやっていたが、部門間を横断する業務がどうしても残っていた。「今回の本気の断捨離」では部門をまたがるセンター間の業務にフォーカスしている。現場からもアイデアがあれば声を上げていただき、一緒に検討していきたい。



組合 DX の活用推進でペーパーレス継続について、キントーンを使っているが迷惑な面もある。紙とキントーンが混在し、パスワード問題もある。今後どう進めるのか



会社 キントーンは、JALEC 社員全員にアカウントを付与しており、アクセス面での課題はあるものの、基本的には全員が利用できる環境としている。現在は、現場から「ペーパーレス化できるのではないか」という意見を集め、それをベースにシステム開発を進めている。会社が一方的に導入を押し付けるのではなく、現場の声を反映しながら進めていく考えである。一方で、現場の意見をすべて吸い上げることは難しいため、他部門や他社の事例も参考にしながら展開を進めていく。現状は実現可能なものから個別に取り組んでいる段階であり、今後は業務フロー全体を見渡した形でシステム化を進めたいと考えている。まだ取り組みは入口の段階であり、全体像がまとまったところで改めて報告したい。

組合 個人 ID が必要になる問題がある。センター間の工具借用がキントーンになっているが、個人 ID でやらなければならないため、その人が休みでも夜勤明けでもその人にしか来ない。組織 ID を作ってほしいと要望したができないと言われた。

会社 個人 ID でできるかは契約の話もあってできるとは言えない、個人 ID で入っても他の人も見れる仕組みはキントーン内でツールの作り方でできると思う。そこは皆さんが苦労しないように工夫していく。

組合 パスワード問題も何年も言っている。イントラに入る時、整備本部のページ、MM、ボーイング・エアバスと 4 回 5 回パスワードが必要で、iPad で WiFi から 4G・5G に切り替える度に最初からやり直しになる。横断できるようにしてほしい。指紋認証などで代替できないか。そういうことをレポーティングハブで改善点をあげているけれど、一向に回答が帰ってこない。

会社 レポーティングハブで上がっているなら確認して対応する。

組合 新しい電話がドコモ回線になり、M2 ハンガーで使えない。それで飛行機の中に入ったら全然つながらない。ドコモに話して、近くにアンテナを立ててもらうとかしてもらえないものか。実際に結構困ってる。、

会社 そこは JAL 全体の問題で、JALDX のネットワークチームと話をして対応を検討したい。

組合 国際線スポットでドコモ SIM から auSIM に変えてもらったところ、787 や 350 でも非常につながりが良くなった。M2 ハンガーでつながらないのはドコモを使っているからで、au に変えれば問題ないと思う

会社 その情報は十分にキャッチアップできていなかったので、ネットワークチームと会話したいと思う。

■高卒採用はどのくらい？特定技能1号の更新は

組合 新卒採用で以前は 100 名程度しか取れないと言っていたが今年はずいぶん取った方だと思う。そこで 27 年度の採用数規模と内訳を聞きたい。高卒も取るということだが、航空専門学校、高等専門学校、高卒の割合はどうなるのか。

会社 2027 年度入社の比率は特に大きく変わらず、航空専門学校、高等専門学校、大卒、特定技能外国人に加え、新しく工業高校卒業生も含める予定である。工業高校の採用活動は 7 月に開始で、5 名規模で考えている

組合 高卒にどういう人材を求めているのか

会社 これまでの JALEC/整備本部では、工業高校の卒業生というのは、我々の仲間にはたくさんいる。JALEC に一社化してからは採用していなかったけれども、そこまでは一定程度採用していた。その時から、今回もそうだけど、「高卒だから」といって、こういう専門性を募集しているとかそういうことではなく、一番大事なのは、航空機に興味があり、航空機整備をやりたいという強い意志を持っている方を採用したい。今、高校を回っているが、比較的反応がよくて、同じ高校の中でも、複数名入りたいと手を挙げてくれる方が結構いるが、初年度ということもあって各校 1 人ずつぐらいに、まずはしようと考えている。

組合 自分の時は高校生でそんな思いは持っていなかった。そこは人それぞれだとは思うけれど、心配しているのは、航空の魅力が、どんどん減ってること。整備士の面白さとか、航空機の整備士ってすごいということが PR できていないと思う。ちょっと前ならドラマとかあったけれど今はないので。

会社 魅力向上というところには、力を入れてて、大体的にはできないけれど、地方空港での見学会みたいなもので、小学校、中学生とかを呼んで興味を持ってもらう。 そういう地道な活動をしている。ここの工場見学もそう。そういうのが少しずつ、というか、刺さる人には刺さっている。面接で聞くと、「実は小さいころに工場見学があって、興味をもった」という人も入ってきている。

組合 いくら AI が進んでも、必ず人を介さないとし、飛行機は整備できない。エッセンシャルワーカーに近い、やっぱり重要な仕事だと思っている。そういう気持ちが伝えられたら、一番いいけれど、なかなか高校生に伝わらないけれど、そういう熱い人が入ってもらえればと思う。

組合 特定技能 1 号の方について、以前聞いたら「ずっと働いてもらいたい、そういうつもりで採用している」と言っていたが、5 年経ったら更新が必要になる。その費用はどうしているのか。今長い人でどれくらいになっているか。

会社 5 年間が期限で、継続勤務の場合は特定技能 2 号の試験を受けてもらう。費用は会社側で負担する。現在 4 年目を迎えている人がおり、今年度中に試験を受けて 2 号になってもらう。ここは訓練部の方に協力していただいてしっかり準備していく予定になっている。

以下、JLU ニュース1088号に続く

【日本航空ユニオンニュース 1087(17－62)号】